

2010年9月4日

会員・関係 各位



特定非営利活動法人 KHJ 香川県オリーブの会

連絡先 TEL・FAX 087-843-9877(川井)

ホームページ <http://khj-olive.com/>

この夏は異常な暑さが続きましたが、秋は涼しくなってほしいものですね。
体調を崩されないようにご自愛ください。

9月の例会を下記の通り開催いたしますので ご案内申し上げます。

第99回月例会ご案内

1) 日 時 9月26日(日)

13:00～13:30 受付

13:30～13:45 報告・連絡

13:45～14:45 研修報告

「アウトリーチについて」(家庭への訪問支援)

講師 さぬき若者サポートステーション

キャリアコンサルタント 岡本 隆志 氏

質疑応答

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 ひきこもり回復プログラム 2

テーマ 「親父の内省」オリーブの会会員 長尾 博之 氏

” 十川 健一 氏

発表後 みんなで話し合いたいと思います。

2) 場 所 香川県社会福祉総合センター 6階 研修室

TEL 087-835-3334 県庁の斜め向い

3) 参加費 会員：1家族 1000円 非会員：1家族 1500円

【今後の月例会】

10月24日(日) 香川県社会福祉総合センター 6 F (13:30～16:30)

11月28日(日) まなびCAN(高松市、琴電片原町駅近く) (13:30～16:30)

12月19日(日) 香川県社会福祉総合センター 6 F (13:30～16:30)

【居場所活動予定】

9月 4日(日) 第5回運営委員会 (13:30~16:30)

9月11日(土) (14:00 注~16:00) ・ 25日(土)(13:30~16:00)

パソコン教室(指導 さぬき若者サポステ)・ポパイの会

9月11日(土) 松田勝先生 個人カウンセリング (9:00~13:30)

【ポパイの会(若者グループ)から】

猛暑のなか居場所の冷房の効き目も弱く、みんな汗を掻きながら、ワードの文書作成からエクセルの表計算と各自のペースに合わせ、さぬき若者サポステの岡本先生のご指導のお陰もあり、若者もめきめき上達してまいりました。

また、家でもテキストで練習しているとのこと、岡本先生のお人柄もあって若者から質問などでもできるようになり、やはり成果がでていいるなと感じています。でもアルバイトが決まって、やっと仕事に行くことができるようになった若者は、残念ですがお休みがとれなくて参加が難しくなっています。パソコン終了後のお茶の時間のおしゃべりもストレス発散になっていたのではないかと思います。それでも若者は頑張っています。

【前回の月例会(8月22日)より】

「ひきこもり状態に変化が見られないときの対応」(抜粋 概略)

ポレポレ農園代表

日本教育カウンセラー協会 上級カウンセラー 松田 勝 氏

・私(松田)の最近の訪問例の中から

徳島の例 動こうとしている事例

姉 20年こもっている

今 週1回1時間のみ働いている

家族以外の人がかかわることが大事になる。

目標設定=週2回、または1時間を2時間へ

弟 15年こもっている

現在、姉と弟を離すため、弟にアパートを借り一人暮らしの始動準備

岡山の例 親(父親)の接し方を考えて、やっと動き始めた事例

まだ当人(息子さん)とは直接会えないが、会えるのも近い。

毎回、香川名物の骨付き鳥を提げて会いに行っている。息子さんは、喜んで食べているという。

訪問者(松田)と当人との距離が縮まっていることを示している。

1 もし 動かないままで年をとれば

将来が不安で、きりつめた生活を求めたり、子が父母を殺した事例

2 ひきこもり状態に変化が見られない3つの特徴

(1) 年齢・年数に関係なく変化が見られない場合

若い者、期間の短い者は、動こうと準備中であり、力を蓄えている時。

- (2) 年齢が高く、長い年数動かない状態の場合
方法や環境を変えれば出られる可能性がある。
- (3) その他
発達障害（特にアスペルガー）の場合は、
人とのつき合いがへた。
相手の気持ちが理解できない。
がんでこだわりが強い。
反面 並はずれて優秀な能力を持っていることが多い。
私のかかわった若者で、当初は分からなかったが、絵を描く能力が素晴らしく、それを生かして自立できた例がある。

ひきこもり者の特徴

- ・よく気がつく。
- ・気持ちがやさしい。
- ・真面目。
- ・能力が秀でている。

（能力があるように見えない場合には、勉強する時期に他のことで勉強に集中できなかった。）

3 動かない場合の考えられる対応

(1) いろいろな情報を提示する

(2) 強弱の刺激を与える

刺激の時期と強さに留意する。

社会不安や対人不安という心の問題を抱えている場合に有効。

アスペルガーに対しては刺激を与えても効果なし。ただ認めたりほめたりするのがよい。

(3) 状態に応じて3段階の活動拠点を作る

- ・病院 治療コース
- ・本気で出る気持ちができる時
本人と家族の気持ちを固める。
家族同士が団結し、居場所・働き場所を自分たちで立ち上げる。
行政にバックアップしてもらう。

[講演終了後、川井理事長からのお願い]

講演の最後にうかがった松田先生のご意見を受けて、10月に開催予定のKHJ親の会四国ブロック会議で、はじめは四国に一つ「ひきこもり者が働ける場所」を確保する相談をしたい。

ついては、自分の子どもはどういう場所が向いているか、どんな場所を作ってほしいか、各自ご意見を寄せてほしい。(9月中旬)

質疑応答(は、松田先生のお話)

- A わが子にアスペルガーの可能性があるとされるが、自分の息子が何に向いているのか？どんな優れた能力があるのか？観察していてもよくわからない。

「整体」をさせたら特殊な能力をもっていると思う。

本人は気が付いていない。

ほめてほめて、ほめ続ける 周りが敵ばかりに見えていたのが、初めて味方ができたと思える。
親がアスペルガーに対する接し方をしっかり勉強して、本人に自信を持たせる。

今の子どもは昔に比べて大変であるのは事実。

協調性も大事であるが、10人中半分の者と協調できればよい。

考える（勉強する）より、体を動かすこと。

認知行動療法は、体を動かし これだけ是可以できるようにするという目標をもたせる。

B 私は、本人がアスペルガーだとは認識していない。

こころの問題だと思っていた。

本人は、逆に他人の気持ちを気にし過ぎている。自分の身体的な特徴（髪が薄い。顔のシミなど）
に敏感すぎるころはあるが。

本人はすぐれた能力を持っている。

母親だから、本人のすぐれた能力に気づいていない。

本人の知識は凄い。行動が伴っていないだけ。

アスペルガーにも強弱がある。こだわりが強い。

もっとよく見てあげてほしい。



C 私は、息子がひきこもった原因探しに夢中になっていた。

マイナス面ばかり探すことをしていた。

今日はいい話を聞いた。目からうろこです。

年齢が高くなっていても、頑張ってみようという気持ちがあると行動に出てくる。

家族では分かり難いが、専門の第三者に関わってもらうとよくわかる。

アスペルガーなら、凄い長所だけに注目し能力を生かしたらよい。マイナスの面は少々どっちでも
いいと思うべきである。

D 子どもの年齢はまだ若い。歯（親知らず）の治療に行きだした。

どう対応したらよいのか（背中を押したらよいのか）迷っている。

歯の治療をきっかけに動き始める。

本人が動くのを待つ。いつ出ていくか待つ。

本人の頭の中には、いつ出ようという目標がある。

けれど自分が失敗したときのことを考え、口外はしない。

以上

【保護者セミナーのご案内】

さぬき若者サポートステーションなどの主催で、西讃地区での保護者セミナーが7月より開かれています。（丸亀の保護者セミナーは今までどおり行われています。）

計5回ですすでに始まっていますが、途中から1回でも参加OKとのこと。

記

- 助言者 臨床心理士 浅田みちる先生
- 日時 (1)平成22年7月20日(火) 13:00~15:00
「親子のコミュニケーションについて」
- (2)平成22年9月21日(火) 13:00~15:00
「良いと思われる対応」
- (3)平成22年11月9日(火) 13:00~15:00
「今一度、生きるということについて一緒に考えてみよう」
- (4)平成23年1月11日(火) 13:00~15:00
「親のストレスを軽くする」
- (5)平成23年3月8日(火) 13:00~15:00
「人生はいつでもスタートラインにつける」

場 所 観音寺市総合コミュニティセンター…(1)(2)(3)
三豊市豊中町保健センター…(4)(5)

申込方法 前日までに電話等でご予約ください。

申 込 先 さぬき若者サポートステーション
TEL(0877)58-1080 FAX(0877)58-0070…(すべて)

助言者の浅田みちる氏は、KH「徳島県つばめの会」副会長でオリーブの会でも1月例会で講演して頂いた方です。

詳しくは、さぬきサポートステーションのホームページにも載っています。

<http://www.e-dome.co.jp/saposute/hogosya.htm>

【居場所文庫】

高松市今里町のオリーブの会居場所には、会員の皆さんから寄付して頂いた本が、少しずつたまり、本棚を飾っています。

その中で、ひきこもりに直接関係のある近年の本を紹介します。

自由に借りれますので、役員にお申し出ください。

- ・もう一度親子になりたい 芹沢俊介 2008年 主婦の友社
- ・親殺し 芹沢俊介 2008年 NTT出版
- ・天国だった、けど(6畳王子マモルの1825日) 加藤健 2008年 (株)三オブックス
- ・若者はなぜ殺すか(アキハバラ事件が語るもの) 芹沢俊介 2008年 小学館
- ・ひきこもりの国 マイケル・ジールンジガー(河野純治訳) 2007年 光文社
- ・引きこもり狩り(アイ・メンタルスクール寮生死亡事件/長田塾裁判)

・ ひきこもり 当事者と家族の出口	芹沢俊介	2007年	雲母書房
・ 母という暴力	五十田猛	2006年	子どもの未来社
・ ひきこもり 卒業マニュアル	芹沢俊介	2005年	春秋社
・ メランコリーチェア (カウンセリングルームからの出発)	中川勝文	2004年	新風舎
・ ひきこもり救出マニュアル	竹森元彦	2003年	西日本法規出版
・ ひきこもりカレンダー	斉藤環	2002年	PHP研究所
・ 引きこもりと向きあう (その理解と実践的プロセス)	勝山実	2001年	(株)文春ネスコ
・ 激論! ひきこもり	蔵本信比古	2001年	金剛出版
・ ひきこもり [知る語る考える]	工藤定次 × 斉藤環	2001年	ポット出版
・ 社会的ひきこもり (終わらない思春期)	工藤定次、橋詰大二郎他	2000年	ポット出版
	斉藤環	1998年	PHP研究所

以上



【お知らせ】

「第20回日本描画テスト・描画療法学会」

2010年10月23日(土) 18時～21時(早まる場合もあります)
香川県民ホール(アルファあなぶきホール)

< 特別企画 >

- ・ 芳田コウヨウ(アスペルガー症候群を抱えた画家)
絵画・ポストカードの展示&販売

= 作家紹介 =

1976年 高松市に生まれる

2006年～ 県民ギャラリー出展

2010年 朔日会入選 2回

観音寺全国公募展 入選1回・入賞2回

本(至文堂): 表紙絵・扉絵・挿絵

個展: 宮武画廊1回・ギャラリーアコスタージュ2回

- ・ お問い合わせ先: byouga20th@ohnishi-hp.or.jp
または FAX: 087-843-7195

絵画等に趣味をお持ちの方、またアスペルガーに関心のある方は23日講演会(有料)も開催

されますので、詳細は上記お問い合わせ先 へお願いします。